

令和元年度夏季 カウンセリング・ワークショップ

〈御案内〉



——主催——

一般財団法人 日本カウンセリング・センター
〒161-0033 東京都新宿区下落合3-14-39
T E L . 0 3 - 3 9 5 1 - 3 6 3 7
F A X . 0 3 - 3 9 5 1 - 1 8 0 8
E - M a i l . c _ c e n t e r @ h b . t p 1 . j p
U R L . <http://nihon-counseling.org/>
振替口座 00170-8-20506
取引銀行 りそな銀行目白出張所 No.881374(普通)

開催日程

第一会場(山形) 7月26日(金)～7月28日(日)

共催 山形カウンセリング研究会 八戸カウンセリング・センター
青森カウンセリング研究会 東北カウンセリング研究会

第二会場(東京) 8月2日(金)～8月4日(日)

第三会場(大分) 8月22日(木)～8月25日(日)

共催 大分県カウンセリング研究協会 後援 NPO 法人心の支援センター

ご挨拶

ご挨拶

カウンセリングの実践や学習に取り組んでおられる全国の皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 日本カウンセリング・センター主催の令和元年（2019年）度夏季カウンセリング・ワークショップの案内をお届けします。

平成から令和の時代となり、世相はあわただしく移り変わっているように見えます。カウンセリングの分野も同様で、昨年9月には国家資格・公認心理師の第1回試験が実施され、2万数千人の公認心理師が誕生しました。今後も、100校を超える大学および大学院での養成と毎年为国家試験の実施によって、その数は着々と増えていくことでしょう。果たして、国が認めるいわゆる専門家の数は増えていっても、その内実はどうようになっていくのでしょうか？

平成の30年を振り返ってみると、昭和の終わり頃に米国ではカール・ロジャーズが亡くなり（1987年）、日本では臨床心理士の資格制度が始まりました（1988年）。そして平成の終わりに差しかかると、米国ではロジャーズの後継者ジェンドリンが亡く

なり（2017年）、日本では公認心理師が誕生することになりました（2018年）。平成の始まりと終わりの頃に、大きな2つの波があり、そして現在を迎えていると言えるでしょう。

こうした時代の大きなうねりの中、日本カウンセリング・センターは今年で法人設立60年を迎えることになりました。波に飲み込まれていくのか、それとも大波が去った後に、真の意味での「カウンセリング」の姿を残し続けていけるのか、まさに私たちは正念場に立っているのだと言わなくてはなりません。不易流行ということの大切さを、今さらながらに痛感しているのは私だけではないと思います。

この夏も、以下に掲載しました各会場において、一人でも多くの方々に意義深い体験と学びが生まれ、そのことが自己や他者やカウンセリングについて洞察する機会になることを祈念しています。

令和元年6月吉日

一般財団法人 日本カウンセリング・センター
代表理事 末武 康弘



このワークショップの目的と特質

ここにご案内するワークショップは、世のいわゆる講習会とは、著しく目的・性格を異にしております。自分とは関係も縁もない誰かが決めた線に沿って、身体を運んでゆきさえすれば、世のいわゆる講師が壇上から抽象概念を降り注ぎ注入してくれる、といったタイプの会合ではありません。もちろん、参加者の要望・要請によって、講演とか講義とかいう言葉で呼ばれている場面が展開することもないわけではありませんが、しかしそのような場面をも含んで、会期中のほとんどすべてが、何よりも参加者各自の参加目的に沿って展開されることが、基本的に目ざされている会合なのであります。端的に申し上げれば、文字通りの「**身心学道の場**」なのであります。

このことは、決して決して奇異をてらっての妄言でもなければまた、人心をあおる宣伝文句でもなく、特に現代においてはきわめて切実かつ緊急な課題への、きわめて古いがしかしよい新鮮さを甦らせている現実的な取り組み(アプローチ)を、率直かつ端的に表明しております。それだけに、不知不識のうちに既成の諸概念によって枠づけられ、しかも既成の社会的体制によって強化されてしまっている思考形式によっては、少々ならず理解し難い記述であろうかと想います。しかし、もしも読者が、ニュートン物理学、今日のいわゆる「古典物理学」、を武器もしくは拠りどころとして増強の一途を辿ってきた産業主義的諸概念から己れを解き放ち、種々様々な困惑させ

られる今日の事態から直接に感得されている己れ的心情に即して読んで下さるならば、おぼろげながらもこのワークショップの目的と特質とが浮かび上ってくる己れに気づくのではないのでしょうか？

わが国ではその名を広く知られている現代の碩学・糸川英夫氏(組織工学研究所々長)は、「リフキンの本を読んで、私がしばらくは立ち直れそうにもないショックを受け、憂鬱な気分になり込んでしまった理由」を、その著「第三の道——インドと日本とエントロピー」(株式会社 CBS・ソニー出版)で告白・概説しておられるのを読まれた方々もおられるでしょうが、そしてさらに、竹内 均氏が訳出されたそのリフキンの「エントロピーの法則」(祥伝社刊)やカプラの「ターニング・ポイント」・「タオ自然学」(工作舎)、あるいはブルックスの「センサリー・アウェアネス」(誠信書房)などをもお読みになられた方々もおられるでしょうが、もしもこれらをお読みになられたならば、ニュートン物理学が、いわゆる「教育」の分野においてもどれだけ猛威を振って今日の荒廃をもたらしているかは、すでに十二分にご了承・ご洞察ズミのことでしょう。私どもに残され課せられている道はただひとつ、「機械論的世界観」によって破滅の淵に追い詰められている私ども人間が、——糸川氏の言葉を借りれば「終末の様相をみせてきた“先進諸国”(もしかすると、先に地獄へ進むという意味かも知れない)」というその「地獄への進路」を、できるだけ早く、かつ、効果的に閉塞すべく勇気を振り起こすことであり、さらには新しい創造的・開拓的な活動へと、人それぞれの分に応じて参加し参与してゆくことなのであります。

端的に申し上げれば、「誰かがなんとかしてくれるであろう」時代が急ピッチで終末段階に向かいつつある現代において、言わば「生命感覚」を頼りに己れの分をシッカリと見定め、己れの足で立ちかつ歩くことが、何よりも肝要な緊急事となっているのであります。そして、ここにご案内するワークショップは、「そのための**体験学習の場**」以外の何ものでもないのであります。

友田不二男



令和元年度・夏季カウンセリング・ワークショップ開催要項

第一会場(山形)

共催 山形カウンセリング研究会
東北カウンセリング研究会
青森カウンセリング研究会
八戸カウンセリング・センター

会場 青松館（〒999-3702 山形県東根市東根温泉町1丁目20-1
電話 0237-42-1411）

【交通のご案内】

- 奥羽本線「村山駅」新幹線または普通電車で下車、山形交通バスに乗り換え（山形・天童方面行き）約5分後「東根温泉」入口で下車し、徒歩7分程度です。
- 仙台駅前（仙台ホテル）より特急新庄行きの山形交通バスに乗車し、同じく「東根温泉」入口で下車します。また、山形空港の御利用も考えられます。山形空港からは、タクシーで10分程度です。

趣旨 今回のワークショップは、これまで継続されてきた趣旨又は目標を踏襲し、参加者の自由な発想に基づき、2泊3日の学習を深めていきたいと考えています。

但し、本会は一般財団法人日本カウンセリングセンター代表理事の末武康弘氏を世話人としてお願いしてあります。

尚、事務局担当者（山形）は学習が円満に運べるように、お世話いたしたいと思っております。

会期 令和元年7月26日（金）～28日（日） 2泊3日

日程 受付 午後1時～

第1セッション 午後2時00分（開会の挨拶）～午後5時30分（夕食 午後6時）

第2セッション 午後7時00分～午後9時00分（終了後任意参加での交流会）

○第2日目 7月27日（土） 朝食 午前7時～

第3セッション 午前9時00分～午前12時00分（昼食）

第4セッション 午後2時00分～午後5時30分（夕食 午後6時～）

第5セッション 午後7時00分～午後9時00分（終了後任意参加での交流会）

○第3日目 7月28日（日） 朝食 午前7時～

第6セッション 午前9時00分～午前11時30分（閉会の挨拶）

会費 23,000円（宿泊費・2泊5食 会場費、茶菓代、2日目昼食費代を含む税込）

但し、夕食後の交流会は1回の参加費1,000円を別途お願い致します。

通いでの参加者は、会場費として1セッションにつき、500円をお願い致します。

会費は、当日会場で徴収させていただきます。

- 定 員 40名
申込期日 7月19日(金)まで
申 込 先 事務局 山形カウンセリング研究会
● 井澤英悦 〒995-0204 山形県村山市稲下102
電話：0237-56-2605（午後7時以降）
E-mail：sisawae_1025@yahoo.co.jp
● 阿相金彌 電話：0237-55-5720
申込方法 上記申込先までご連絡ください。
尚、前泊や後泊の場合は、各自でご予約をお願い致します。



第二会場(東京)

この会場は、現実的なご事情で合宿研修に参加できない方々のための「通いのワークショップ」です。宿泊および昼食のお世話は致しかねますので、あらかじめご承知おきください。

- 会 場 一般財団法人 日本カウンセリング・センター2階研修室
(JR山手線目白駅下車、徒歩約10分)
会 期 8月2日(金)～8月4日(日) 時間は3日間とも10:00～17:00
会 費 18,000円(研修費・茶菓子代)
定 員 20名
世 話 人 水野明(当法人世話人)
岩田生美(当法人評議員、当法人認定カウンセラー)
申込期日 7月26日(金)まで
申 込 先 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局



第三会場(大分)

共催 大分県カウンセリング研究協会
後援 NPO法人心の支援センター

- 会 場 大分スポーツ公園宿泊研修センター希感舎(大分県大分市大字大松岡 6717
電話 097-524-6551 FAX097-524-6552
URL: <http://www.kikansha.info>)
会 期 8月22日(木)14:00～8月25日(日)10:30まで(3泊4日)
会 費 45,000円(研修費・宿泊費・事務費を含む)
定 員 20～25名
世 話 人 佐世省吾(当法人参与・大分県カウンセリング研究協会)
生山留美(NPO法人心の支援センター理事長)

竹内良雄(浪速少年院)
後藤アイ(大分県カウンセリング研究協会)

申込期日 4月30日(木)まで
※期日を過ぎても参加ご希望の方はご連絡ください。
申込先 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局
地 元 大分県カウンセリング研究会事務局 後藤アイ
問合せ先 電話・FAX 097-595-0351



<申込方法と備考(東京・大分会場)>

(山形会場は [p-5の申し込み先](#)にご連絡ください。)

- (1) 巻末の参加申込書に必要事項を記入し、事務局宛に郵送・FAXでお送りください。もしくは、事務局のメールアドレスに必要事項を入力し「夏季ワーク〇〇会場参加申し込み」などの件名で送信ください。申込金¥5,000は、銀行振込・口座振替・現金書留・当日持参のいずれかでお支払いください。
- (2) お申し込みいただきますと、当方より折り返して「参加承諾証」をお届けいたしますので、この「参加承諾証」を会場にご持参ください。会場受付において申込金を会費に繰り入れます。
- (3) お申し込み後、なんらかのご事情で参加できなくなった場合には「参加承諾証」をどなたかにお譲りください。または、同年度内の別の会場に振り替えることは構いませんが、いずれの場合も申込会場の申込締め切り期日前にお知らせください。
- (4) 定員に達した場合は、申込期日前でも締め切ります。お含みおきください。
- (5) 申込期日前に締め切った場合は、返送料を差し引いて申込金をお返しいたします。
- (6) この会合は、東京会場以外、全員合宿を原則としておりますが、諸般の事情により「通い」を希望される方はあらかじめお問い合わせください。
- (7) 特別の事情がある場合には、世話人が変更されることがありますので、その場合にはご了承ください。
- (8) 会場により「宿泊費」の変動のため、「会費」の金額が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (9) 申込金を銀行振り込みされる場合は、一般財団法人 日本カウンセリング・センターの口座にお振り込みください。(振込先:リそな銀行目白出張所(普)No.881374)

令和元年度・夏季カウンセリング・ワークショップ参加申込書

このワークショップの目的に賛同し、次のワークショップに参加します。

	全日程	通い	途中参加(いつからいつまで)
第二会場(東京)			月 日 時～ 月 日 時
第三会場(大分)			月 日 時～ 月 日 時

※参加ご希望の会場と期間の欄に○をご記入ください。

途中参加の場合は日時をご記入ください。

申込金の送金方法 りそな銀行目白出張所 振替口座(表紙参照)

現金書留 当日持参

令和 年 月 日

現住所	〒		
電話番号		E-mail	
ふりがな		生年月日	性別
氏名		Ⓜ	男・女
所属機関			

※ E-mail(メールアドレス)・生年月日・性別・所属機関の記入は任意です。

一般財団法人 日本カウンセリング・センター 御中